



清涼

せいりょう



浄土真宗 本願寺派
清涼山 善教寺
〒663-8184 西宮市鳴尾町 4-10-7
0798 (48) 2224
www.zenkyoji.jp
※寺報の題字は親鸞聖人のご真筆より依用

後生の一大事

し心配しましたが、三名はそれぞれにすばらしい回答を伝えてくれたのです。

お寺は人生をこころ豊かに生きていくために、仏さまの教えを聞く場所です。

お寺は自分の力で解決することのできない問題を、仏さまにたずねていく場所です。

一人目、二人目の生徒が伝えてくれた回答に、私自身、深く共感しながら「すばらしい回答をありがとう。私もそのように思っています」と御礼を伝えました。そして、最後の三人目の生徒が伝えてくれたのが次の言葉でした。

お寺は「後生の一大事」を聞く場所です。

若い三名の生徒が、どのような思いで答えてくれたのか私には分かりません。もしかすると浄土真宗のお寺について、いろいろと予習して実習に臨んでくれたのかもしれませんが。けれども浄土真宗のお寺が大切にしている

ことを、しっかりと伝えてくれたことをとてもうれしく思ったのです。

浄土真宗のお寺は、私の人生を都合よく生きていく為に、阿弥陀さまに何かを願っていく場所ではありません。いのちの行方という自分の力では見通すことも、解決することもできない大きな問題（後生の一大事）を抱えて生きている私たちに向かって、阿弥陀さまは、「南無（まかせよ）阿弥陀仏（われに）」、「あなたのいのちは引き受けた。必ず浄土へ迎え取るから、どうか安心して生きてほしい」と願われ、いまここに一緒に一緒にいてくれます。不安におののく私のいのちを根底から支え、お浄土へと導いてくださっているのです。

まさに「後生の一大事」という、いのちの問題の解決とともに聞き、まことの安心を聞かせていただく場所、それが浄土真宗のお寺に他なりません。社会体験実習に来てくれた三名の生徒の言葉を通して、私自身がそのことをあらためて教えていただいたご縁でした。

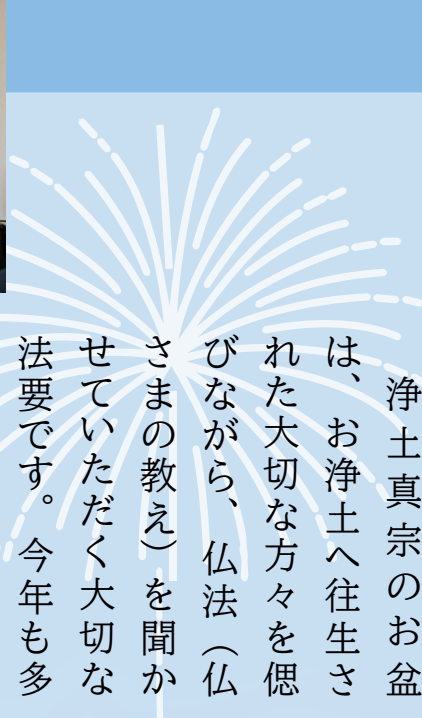
副住職 赤井智頭

お盆法要（歓喜会）かんぎえ

令和7年

8月1日(金)

8月2日(土)



浄土真宗のお盆は、お浄土へ往生された大切な方々を偲びながら、仏法（仏さまの教え）を聞かせていただく大切な法要です。今年も多くのご門徒のみなさんにお参りいただき、お勤めすることができました。

法話は副住職が担当し、浄土真宗におけるお盆の意義や、懐かしい方々がおられるお浄土についてのお話をさせていただきました。

暑い中、2日間・計5座（回）の法要に、多くの方々のお参りをいただきました。ありがとうございました。



秋季彼岸会しゅうきひがんえ

令和7年
9月14日(日)



▲やなせ なな 先生のお歌とご法話

彼岸（「彼の岸」とは、迷いの世界（「此の岸」）に対するさとりの世界。浄土真宗の教えに縁ある私たちにとっては、阿弥陀さまのお浄土といただく言葉です。お念仏の先人方はこのお彼岸のご縁を通して、お浄土へ先立って往かれた大切な方々を偲んできました。

当日はシンガーソングライターであり僧侶のやなせ ななさんにお越しいただき、素敵な歌声とご法話を聞かせていただきました。

報恩講

ほう おん こう

令和7年
11月29日(土)

報恩講は浄土真宗を開かれた開山・親鸞聖人のご命日の法要です。親鸞聖人のご生涯を偲びながら、お念仏の教えを聞かせていただく、浄土真宗のお寺で最も大切な法要です。

当日は龍谷大学 客員教授の貴島 信行先生からお話を聞かせていただき、お念仏のひと時を過ごさせていただきました。午前・午後の二回の法要にたくさんのお参りをいただきました。



▲ 貴島 信行先生のご法話



▲ パドマ合唱団のコーラス



▲ 婦人会のみなさんが準備をしてくださいました

元旦会

令和8年
1月1日(木)

今年もご門徒のみなさんと一緒に新年をお迎えいたしました。

住職・副住職の法話に始まり、最後はお参りのみなさんと一緒に、お正月の歌をうたいました♪



春季彼岸会

令和8年
3月15日(日)



▲三浦 真証先生のご法話

お彼岸は「彼の岸（浄土）」へ往き生まれて
いかれた大切な方を偲びながら、今を生きる
「私」自身が、仏法（仏さまの教え）を聞か
せていただく大切な仏事です。三浦 真証師
をお迎えして、ご法話を聞かせていただきま
した。パワーポイントを使用されてのお話に、
みなさん聞き入っておられました。

永代経法要

令和8年
6月13日(土)



▲婦人会のみなさんが
準備をしてくださいました



今年の永代経法要も、多くのお参りのみなさんとお勤
めすることができました。永代経のご懇志をご進納く
ださいましたご門徒にもお焼香を賜り、仏さまにお参
りいただくお念仏のひと時を、ご一緒に過ごさせてい
ただきました。当日は副住職が法話を担当しました。

善教寺 パドマ合唱団

コーラス団員募集中

毎月2回・木曜日の13時からコーラスの練習をしています。
どなた様も入団をお待ちしています。歌うことは健康には勿
論のこと、仏教讃歌は歌詞もメロディーもとっても素晴らしい
ので心の健康にも良いですよ♪

(詳しい日程に関しては直接、善教寺までお問い合わせください)



▲コーラスのご指導をしてくだ
さっている東塾 裕子先生

善教寺パドマ合唱団 忘年会

令和7年
12月21日
(日)

善教寺パドマ合唱団のみなさんとの忘年会を開催
しました。ビンゴゲームや食事をして楽しく過ごし
ました。今年も一年、本当にお疲れさまでした♪



神戸別院 コーラスフェスティバル

令和8年
3月1日
(日)

神戸別院で行なわれたコーラスフェスティバルに、
善教寺パドマ合唱団が出演しました。

善教寺 仏教婦人会のご案内

善教寺仏教婦人会への加入はいつでも募集中です。ご連絡をお待ちしています。
仏さまのご縁で結ばれたみなさんと、お寺でのひと時を過ごされませんか？



善教寺 納骨堂・合同墓のご案内

ご門徒のみなさまからのご要望をいただき、善教寺「光の納骨堂」ならびに合同墓「追憶廟」が、先年、完成しました。

「光の納骨堂」の設計・監修は、世界的にも著名な建築家であります安藤忠雄氏によるものです。本当にモダンで美しい納骨堂に仕上げていただきました。納骨堂の中央にご安置しています阿弥陀如来像は、平安佛所・仏師の江里康慧氏と京都・陶額堂によって造仏された、世界でもめずらしいひかり輝くガラス仏をお迎えしています。また各納骨壇には、ご本山である西本願寺からお迎えしたご本尊をそれぞれに安置しています。

「光の納骨堂」は、完全屋内型・全面バリアフリーで、どなたでも安心してお参りしていただけます。ぜひこの場所で、大切な方に掌を合わせていただき、心温まるひと時をお過ごしくださいませうれしく思います。なお納骨堂・合同墓に関する申し込みやパンフレットの請求、何かご質問等ございましたら、善教寺までお問い合わせください。

参詣者の声①

遠方にあったお墓を墓じまいして、「光の納骨堂」にお骨を収めさせていただきました。近くですので、いつも安心してお参りすることができます。

参詣者の声②

合同墓に納骨しました。後継者がいないので、私自身も生前申し込みをさせていただいています。今後のことについて心配していましたが、お寺さんがお護りしてくださるとのことので、大きな安心をいただいています。

お寺のホームページ

お寺からのお知らせや今後の予定などに関しては、善教寺のホームページ
(www.zenkyoji.jp)でも情報を公開しています。ぜひご覧ください。



QRコードよりアクセス
いただけます。

「お寺の風景」

鎌倉時代につくられた
阿弥陀如来立像



▶ ステンドグラスに描かれた天人

せいいてんべんきようかい 聖典勉強会



副住職が『歎異抄』の内容を、初めからゆつくりと読み進めています。現在、日本でもっともよく読まれている宗教書は、仏教では『歎異抄』、キリスト教では『聖書』といわれている様に、『歎異抄』は古今を問わず、多くの方々に読み継がれてきた、浄土真宗の大切な聖典です。

「どんな内容かな？」と、少しでも興味やご関心をお持ちの方は、この機会にぜひお越しください。

※日程に関しては善教寺のホームページをご覧ください。
ただか、直接お問い合わせください。

西宮 たねまき寺子屋



たねまき寺子屋は、歴史を動かした人、世界を変えた人など、目標にしたくなる大人の生き方を子どもたちに学んでもらい、これからの未来をつくる子どもたちに「あんな大人になりたい！」という憧れを育てる無料塾です（寺子屋の講師は地域の大人が、毎月リレーで担当しています）。

毎月第4土曜日・16時～17時、善教寺会館にて開催していますので、お子様やお孫様と一緒に過ごされればうれしく思います。

西宮健成塾

総合武道健成塾
守る力をあなたに
すぐに使える本格護身術

神戸の武道道場 総合武道健成塾が
令和3年3月より
善教寺にて護身術報告会を定期開催します。

男性の方	女性の方	子供・親子参加
実践で使える護身術を 京都から丁寧に指導 運動不足解消にも最適	初められた時の対応法 市販品での実践練習 安心の少人数制	いざという時の備え 礼儀・集中力の育成 親子での参加も可能

開催日時：毎月第4土曜日 15:00～16:00
開催所：善教寺（兵庫県西宮市橘野町4丁目10-7）
開催費：18名程度
参加費：大人2,000円 中学生以下500円
事前お申込制のため、下のQRコードよりお申し込みください

参加申込 お問い合わせ

持ち物：動きやすい服装・タオル・飲み物・参加費

神戸の武道道場総合武道健成塾が、今年度から善教寺にて開塾されます。「守る力をあなたに」をモットーに、すぐに使える本格護身術を若男女問わず、教えてくださる道場が健成塾です。

毎月第4土曜日・15時～16時
善教寺会館にて開催しています。ご興味のおありの方はどなた様もどうぞお越しください。

しんぱっ ち
新発意
の
成長記

「新発意」は、「しんぼち」や「しんぼち」とみます。元々は発心し僧になったばかりのや、仏門に入ってからもない人を意味していたが、それが転じて寺の子どもをさす言葉としても使われています。

副住職夫妻の長男・尊^{たかあき}顕は12歳。今年の4月から小学6年生になりました。次男・顕^{けんし}至は8歳になり、今年の4月から小学校2年生になりました。

尊頭は土日祝のすべてが所属している野球チームの練習日なので、なかなか外出するところができません。先日、たまたま縁が整ったので、浄土真宗本願寺派のご本山であります京都の西本願寺へ、子どもたちを連れてお参りに行くことができました。久しぶりにみんなでご本山にお参りすることができ、良い思い出になりました。

お寺で法要がとまる時も、ご縁が整えば一緒に参りしていただけますので、みなさまには今後ともお育てくださいますよう、よろしく願います。



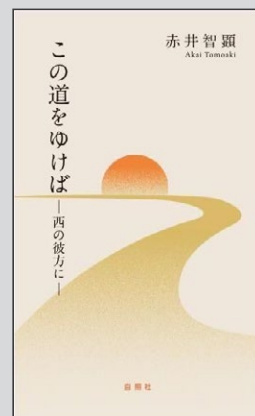
からのお知らせ

副住職が勤めている、大阪の相愛大学の公開講座と仏教講座の案内です。様々なテーマのもと各講座が開講されています。

副住職の担当講座もあります。どなたでもお越しいただけますので、ご興味がありませんの方はどうぞお気軽にお申し込みください。



お寺の関連書籍



副住職が執筆した冊子、『この道をゆけば一西の彼方に一』が出版されました。自照社のHPにて連載した短編法話を、9編収録した法話集です。

ご興味のある方は善教寺までお問い合わせください。

自照社コラム

仏教書の出版社である自照社のホームページにて、副住職がコラム「この道をゆけば」を連載しています。奇数月の1日に更新していますので、有縁のみなさまにお読みいただけたら幸いです。

<https://jishosha.shop-pro.jp/>



広島仏教学院
オンライン入門講座

広島仏教学院の「仏教・真宗 オンライン入門講座」に副住職が出講しています。今年度は「正信偈」の講座を担当しています。

<https://www.gakuryo.jp/>

